

2023年2月13日

株式会社三菱UFJ銀行

## 国家級経済技術開発区グリーン発展連盟との業務提携について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup>半沢 淳一、以下 当行）の全額出資子会社であるMUFGバンク（中国）有限公司（行長 <sup>はせがわ よしき</sup>長谷川 由樹、以下 MUFGバンク（中国））は、今般、国家級経済技術開発区グリーン発展連盟（以下 グリーン発展連盟）との間で、中国におけるカーボンニュートラルの促進に関する業務協力協定（以下 本協定）を締結いたしました。なお、本邦金融機関がグリーン発展連盟と協定を結ぶのは本協定が初となります。

グリーン発展連盟は、2016年に中国国家級経済技術開発区<sup>[1]</sup>の低炭素化および国際協力への取り組みを支援する機関として設立されました。低炭素化分野におけるコンサルティングサービスや排出量の情報化サービス、低炭素化技術を持つ企業をデータベース化したビジネスマッチングプラットフォームなどの提供や、企業のグリーン工場認定に向けたトレーニング、カーボンフットプリント<sup>[2]</sup>構築などを通じ、中国国家級経済技術開発区の支援を行っています。

中国では、カーボンニュートラルの実現に向けた政府の方針「3060目標」を受け、低炭素化や自社GHG排出量削減などの企業活動が活発化しています。MUFGバンク（中国）は、従前より、カーボンニュートラルの実現に向けて活動される中国のお客さまに対して、各種金融サービスや中国の政策動向に関する情報提供などのコンサルティングサービスを提供してまいりましたが、本協定により、低炭素化やGHG排出量の可視化、カーボンフットプリントなどの分野を中心とした、お客さまの投資・研究開発へのサポートの拡充、グリーン分野における日中企業連携を促進することが可能となります。今後、グリーン発展連盟と商談会やセミナーを共催するほか、共同で中国のカーボンニュートラルに関する情報収集や政策の調査、日系企業の投資動向の研究を行い、中央政府や地方政府へ政策提言を行うなど、お客さまのカーボンニュートラルに向けた取り組みを支援してまいります。

当行は、本協定を通じて、中国で事業展開されているお客さまへのサービスや日中の企業連携へのサポートをより一層充実させると共に、お客さまのカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

<グリーン発展連盟の概要>

名称	国家級経済技術開発区グリーン発展連盟
設立	2016年8月
所在	天津経済技術開発区第二大街61号天津双炭ビル3階
ホームページ	中国語： <a href="https://www.greendev.org.cn/">https://www.greendev.org.cn/</a> 英語： <a href="https://english.greendev.org.cn/">https://english.greendev.org.cn/</a>
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国国家級経済技術開発区の低炭素化や国際協力への取り組み支援</li> <li>・企業の低炭素化に向けた活動のコンサルティングサービス、ビジネスマッチングプラットフォームの提供</li> <li>・企業連携を促進するための多国籍企業間の商談イベントの開催</li> </ul> <p style="text-align: center;">（17カ国の大使館や省エネ関連の投資・研究機構などと協力関係あり）</p>

- [1] 開発区は、経済発展の促進を目的として、特別な経済政策や優遇政策が実施される特殊政策地区です。国務院、省、自治区、直轄市によってその地区が指定され、そのうち、国務院が認可した開発区が「国家級」とされています。
- [2] Carbon Footprint of Products の略称で、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至る過程を通して排出される GHG（温室効果ガス）排出量を CO2 排出量に換算して商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みです。

以 上